

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援きのね（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年10月9日 ～ 令和7年11月5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和7年10月9日 ～ 令和7年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者支援に力を入れている	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者交流会を開催している。 ・定期的に個別発達相談会を開催している。 ・電話やメール、連絡帳での相談事に迅速に対応するようにし、必要に応じて面談を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会に未参加の方が参加しやすくなるよう、開催日や内容を工夫していく。アンケートを取りより良い会になるよう工夫していく。 ・保護者向け勉強会やペアレントトレーニング講座を開催していく。
2	社内研修と日々のミーティングにより支援の方向性がしっかり定まっている	<ul style="list-style-type: none"> ・新規社員研修4日間で発達や支援方法についてしっかり学ぶ。その後も社内研修や外部研修の参加を通して常に学ぶ姿勢を忘れないようにしている。 ・支援の振り返りを必ず行い、特に難しいケースの場合は皆で意見を出し合い、様々な視点から支援を考えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修が不定期になってしまっているのを定期的に行えるようにしていく。 ・非常勤職員の意見を聞く機会が少ないので意識的に作っていくようにする。非常勤職員を含めた会議も開催していく。 ・非常勤職員にもできるだけ社内研修に参加してもらう。
3	学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援も行っているため、学校と連携して支援がしやすい。 ・特に保護者が学校生活に心配を抱えている場合は学校に見学に行ったり、相談支援事業所経由で担当者会議を開くなどして、特性や支援内容について助言や情報共有するなど、積極的に連携している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり連携できていない学校もあるため、密に連携できる学校を増やしていく。 ・学校以外の関係機関とも積極的に連携を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流会は行われているが、きょうだい支援や講座としてのペアレントトレーニングは行われていない	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい支援をどのように進めたいのかわからない。 ・ペアレントトレーニングのトレーナー資格を持つ者がいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい支援についての研修等を受けるなどして知識を得た上で、効果的なきょうだい支援について検討していく。 ・保護者にどんなきょうだい支援を行ってほしいかアンケートをとる。 ・ペアレントトレーニングのトレーナー資格を持った者が講座を行えるよう整備していく。
2	地域交流や児童クラブ、児童館との交流があまり行われていない	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の規模や駐車場の問題などで、地域住民を招待してのイベント開催があまり実現的ではない。 ・児童クラブや児童館との交流をどのように進めたいのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、初めてハロウィンイベントで地域住民との交流を行った。今後もこちらが出向く形で様々な交流を行っていく。 ・児童クラブや児童館とのどのような交流方法が考えられるのか、他事業所の実施例などを参考にし、検討していく。
3	災害訓練を行ったりマニュアルが整備されていることを把握されていない保護者もいる	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にマニュアルについてお伝えしているが、一度に多くのお話しているため全て ・災害訓練時に利用されていない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの面談時などにもマニュアルが見られるよう相談室に置いておく。 ・様々な曜日で災害訓練を開催していく。保護者引き取り訓練の実施も検討していく。 ・災害訓練を行った場合は、内容等をメールでも周知していく。